



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 相澤 隆
幹事 佐藤 卓立

クラブ奉仕委員会
委員長

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

黒澤 信之

大平 謹一郎

令和元年10月7日(月) 第11回 通算第1545回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市栄町5の1 ホテル辰巳屋7F ☎(024)524-1010・FAX(024)524-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第11回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 相澤 隆会長
- ◇ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 高橋 智弘 会員
- ◇「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 渡辺 敬藏 委員長
- 10月誕生祝い



- ・齋藤武二 会員 昭和14年10月15日生
- ・新開文雄 会員 昭和26年10月16日生
- ・高梨哲男 会員 昭和24年10月30日生

◇会長あいさつ 相澤 隆会長



彼岸を過ぎまして秋本番という所であります。食欲の秋、スポーツの秋、そして旅行の季節でもありまして、皆さん楽しい計画もたくさんおありかと思いますが、天候や気温が大きく変化する時期でもございます。

風邪などには十分に気を付けていただきたいと思います。

さて、10月は国際ロータリーの「地域と経済の発展月間」、そして国内では「米山月間」ということになっております。「米山月間」につきましては皆さん十分にご承知のことと思います。日本のロータリー運動の父とされる米山梅吉氏の遺徳を偲ぶとともに、「米山奨学事業」に対して改めて理解を深めていただければと思います。

もう一つの「地域と経済の発展月間」は、RIによりまして『貧困地域の経済発展を目的とした起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間』とされております。

「世界で14億人が1日に1ドル25セント以下の生活を送っており、支援が必要だ」ということでありますが、では実際にロータリーとしてどういった活動をしているのか、RIが示

しております「具体的な行動モデル」を見てみますと、まず「収入源と預金」として、地域社会の融資システムを改善し人びとが地元で資金を管理していけるよう、地元の小口融資機関と提携しモバイル・バンキングの開発を推進すること。

次に、「雇用機会の創出と起業の支援」として①起業を考えている人びとにビジネスプランの立て方や資金管理の方法を教えるため「職業研修チームを派遣」する②地元の非営利団体に支援を提供し「職業研修の機会と職業斡旋プログラムを改善」する③地元経済の生産性と販売力を高めるため、協同組合に「機材や物資を提供」する④組合員に対して研修、合併事業、資産の所有権を提供している「協同組合と提携」するなどの事業を例示しております。

ただ、こうした事業が、当クラブにとって「今すぐに取り組むべき活動」とまでは言えないと考えますので、今回は内容の紹介ということで、とどめさせていただきたいと思います。

本日のプログラムは、21日のガバナー公式訪問に向けての「クラブ協議会」となります。当日のスケジュールが円滑に進みますよう準備等よろしく願いいたします。また、青少年奉仕委員会セミナー報告、職業奉仕委員会セミナー報告と盛りだくさんの内容となっておりますので、あいさつはこの辺で終わらせていただきます。

◇幹事報告 佐藤 卓立 幹事

○例会変更のお知らせ

・次週14日の例会は祝日の週のため休会となります。

○その他のお知らせ

・次回21日の例会はガバナー公式訪問になりますので、全会員の出席をお願いいたします。又、協議会は10時30分開始となります。協議会に参加される皆様は開始時間10分前までのご集合を宜しく願い致します。

・本日、午後6時半よりエルティにて10月理事会を開催致します。理事役員の皆様は宜しく願い致します。

・10月ロータリーレートは1ドル108円となります。

委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 黒澤 信之 委員長

○相澤 隆会長＝10月生まれの皆様、おめでとうございます。本日は、ガバナー公式訪問に向けてのクラブ協議会となりますので、よろしくお願いいたします。

○齋藤武二 会員＝お祝いをいただきました。有難う御座います。

○根本いずみ 会員＝小澤さん、事務局のお引越し大変ですが、よろしくお願い致します。

○佐藤卓立 幹事 ○大平謹一郎 会員 ○久米允彦 会員

- 黒澤信之会員 ○佐藤宗弘会員 ○佐藤慶行会員
○鈴木悦夫会員 ○高梨哲男会員 ○高橋智弘会員
○寺島英樹会員 ○野尻榮一会員 ○渡辺敬藏会員

本日のスマイリングBOX集計15件 30,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇会報・雑誌・広報・IT・小委員会報告 大平 謹一郎委員長
*「友」10月号紹介

ロータリーの友10月号の紹介です。

横組3P RI会長メッセージ

10月24日は世界ポリオデーです。今年は多くのRCでイベントを実施していただきたい。

横組P7～P18 ようこそ日本へ マローニRI会長夫妻

8月2日～10日 日本が夫妻にとって会長年度最初の海外訪問でした。青森(八戸)→福島(相双)→東京→神奈川(鎌倉)→名古屋

P12～P13 2530地区訪問の様子が掲載されています。10月米山月間です。

横組P19～P23 特集記事米山月間にはモンゴルで開催された米山学友による第2回世界大会の報告です。10月は地域社会の経済発展月間です。

横組P5・P28～P29 北九州市の若松RC等が地元のシャッター通りにコミュニティスペースを開設した活動がとりあげられています。

横組P4 スピーチには三重大学副学校長 西村訓弘氏のRI第2630地区のIM基調講演の要旨が掲載されています。三重県鳥羽マルシュを立ち上げた方です。今日本に必要なものは、地元創生という形を通してながら気持ちの切り替えをする事です。井の中の蛙、されど空の高さを知る。大海を知り、井に戻った蛙

◇本日のプログラム———セミナー報告

- 青少年奉仕委員会 佐藤 慶行委員長
○職業奉仕委員会 渡辺 敬藏委員長

9月14日、郡山ユラックス熱海で開催された職業奉仕委員会セミナーについてご報告致します。

芳賀ガバナー、渡辺健寿地区研修委員会副委員長の挨拶の後、佐藤喜市郎職業奉仕委員長から主催者挨拶および講師紹介がありました。

「職業奉仕を人生論として語ろう」～職業奉仕に誘うものは何なのか～について2015～16年度 地区職業奉仕委員長・会津若松中央RCの福西宣孝氏の講演がありました。

福西氏は職業奉仕について詳しい方であることは、「ロータリーの友」2019年1月号の特集「今に生きる職業奉仕」15ページに、「金看板としての職業奉仕」が掲載されていることから分ります。

当日は、副題となっている「職業奉仕へ誘うものは何なのか」について、①職業奉仕の具体例により「職業奉仕」のイメージをもつ、②職業奉仕が「ロータリーの目的」とどう関連するか、③何故、職業奉仕を基本と考えるべきなのか、その根拠の検討、④職業奉仕への誘うものは何かのそれぞれについて説明した。

1.職業奉仕の具体例により「職業奉仕」のイメージをもつ

具体例として、NHKテレビ「プロフェッショナル」で放映された羽田空港清掃員Aさんが紹介された。羽田空港は4年連続「世界で一番きれいな空港」に選ばれており、その立役者がAさんとのことだ。Aさんは恵まれない境遇で育ち、学歴は中学卒であるが、その仕事に対する誇りをもち、仕事への情熱が工夫を生みAさんの評価が上がった。次は、観光バス添乗員Bさんの

例です。福西氏が青森のねぶたと奥入瀬の観光ツアーに参加したときのガイドがBさんで、ねぶたの機軸の手配の仕方、バスの中での案内版を手書きとする、駐車場では、自分のバスがどれか分るように人形をバスの前に吊下げるなど、観光客が安心して楽しめるよう工夫している。客のほとんどがリピーターだったことに気付く。AさんBさんに共通するものは、①誠心誠意の客への奉仕②職業上の利益の享受である。

2.職業奉仕とロータリーの関係

「ロータリーの目的」と職業奉仕

ロータリーの友6月号6ページに掲載されている

「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励する事であるとして4つがあるが、福西氏は、第2の「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値があるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにする」ことと理解している。

3.何故職業奉仕を基本に考えるべきか

3.1 職業奉仕の宿命性

結論として採算性と倫理性を折り合わせながら、職業上の様々な行為を行っている。

3.2 職業上の日常性

職業人は日常的に毎日仕事に従事している。職業を行うことは「職業奉仕」に直面し日常的に「職業奉仕」に向き合わざるを得ない。

まとめると、職業奉仕は、「奉仕の宿命と日常性」の二点においてその余の奉仕とは異なり、全ての職業人が職業奉仕に直面せざるを得ない宿命を担っている。しかも、これには、毎日営む職業の中で日常的に関わらざるを得ない。

このように、「全ての職業人は否応なく日常的に直面する」という意味で「基本的な奉仕」である。

4.職業奉仕に誘うものは何か～従来の職業奉仕論の検討～

従来の職業奉仕論は次の三つに考えられる

①シェルドン職業上の利益(経済的利益):「経済」

②天職論は神による救済:「宗教」

③愛に基づく職業倫理運動は「愛」:「倫理」

これに対し、福西氏は、人間の行動を動機付けるものは、以上の三つ以外にもあるのではないかと述べています。

5.職業奉仕へ誘うものは何か

1)「生きることの意味」の充足とその必要性

2)職業奉仕と生きることの意味

3)職業奉仕と生きることの意味を見出す価値領域

以上についてまとめると以下の三つになる。

①かつては、「海外旅行をするときは、ロータリーのバッヂを付けていくとよい」

②何故ロータリアンは信用されたのか?

本来金儲けの手段である職業の中に、「創造価値と体験価値」を生み出し、日々、「利己と利他の調和」を目指して誠実に取り組んでいるからと言えるのではないか。

③「職業奉仕」とは、「人間如何に生くべきか」という人生論の問題である。

人生論の中で、「生きることの意味」を考えた時、職業奉仕へと誘われることになるのではないか。

○ガバナー公式訪問前クラブ協議会

◇閉会点鐘 相澤 隆会長

※会報カメラ担当 大平 謹一郎会員